

HABANERA × The Blue Aurora

JAPAN TOUR 2016



©ソラビロミチ(CAPSULEOFFICE)

ハバネラ サクソフォン ・カルテット × ブルーオーロラ ・サクソフォン ・カルテット

8つの国際コンクール優勝歴を誇る世界屈指のサクソフォン・カルテット
“ハバネラ”と“ブルーオーロラ”2つのカルテットによる八重奏リサイタル。

10/31(月)

東京 TOKYO

八重奏公演

浜離宮朝日ホール

(都営大江戸線「築地市場駅」(A2出口)すぐ)

18:15開場 19:00開演

[チケット]

●全席自由 一般4,000円 学生3,000円

[チケットお取り扱い]

●E+ (イープラス) <http://eplus.jp>

●朝日ホール・チケットセンター 03-3267-9990

●アスペン 03-5467-0081

11/2(水)

名古屋 NAGOYA

八重奏公演

電気文化会館
ザ・コンサートホール

(東山線・鶴舞線「伏見」駅4番出口より徒歩2分)

18:30開場 19:00開演

[チケット]

●全席自由 一般3,500円 学生2,500円

[チケットお取り扱い]

●E+ (イープラス) <http://eplus.jp>

●電気文化会館チケットセンター 052-204-1133

●アスペン 03-5467-0081

◆植村楽器 052-722-1682

◆ドルチェ楽器名古屋店 050-5807-3564

◆パルドン・フィルステージ 052-331-3383

11/4(金)

広島 HIROSHIMA

ハバネラ単独公演 Guest:平野公崇

エリザベト音楽大学
ザビエルホール

(JR線「広島駅」南口から徒歩12分)

18:00開場 18:30開演

[チケット]

●全席自由 一般3,500円 学生2,500円

[チケットお取り扱い]

●E+ (イープラス) <http://eplus.jp>

●アスペン 03-5467-0081

◆ウインズサポート 082-878-7708

◆広島アーツ楽器 082-227-6601

「Wasser Music」より序曲 / G.テレマン
Suite en Do Majeur Wasser Music Ouverture / Georg Philippe Telemann

アタージョとフーガ ハ短調 K. 546 / W.A. モーツァルト
Adagio et Fugue K546 / W.A. Mozart

四重奏曲「アメリカ」より / A.ドヴォルザーク
Quatuor en Fa majeur(American) / Antonin Dvorak

6つのバガテル / G.リグティ
Sk bagatelles / Gyorgy Ligeti

ダッタン人の踊り / A.ポロディン
Rolovitchan Dance / Alexander Borodin

和樂 / 平野公崇
Warako / Masataka Hirano

津軽じょんがら節 / 日本民謡
Tsugaru Jōngarabushi / Japanese Folk Song / arr. Masataka Hirano

ていんざくめ花 / 沖縄民謡
Teinzaikumehana / Okinawa Folk Song / arr. Masataka Hirano

キャンディード序曲 / L.バーンスタイン
Overture to Candide / Leonard Bernstein

...他

※曲目が変更になる場合がございます。予めご了承下さい。



[公演お問い合わせ] 野中貿易株 開発営業部 担当:高尾 TEL:080-4124-7720 (受付時間:月~金 11:00~17:00) E-MAIL: kazutaka.takao@nonaka.com

■主催:野中貿易株式会社 ■協賛:セルマー・パリ社、バンドーレン社 ■後援:日本サクソフォン協会 ■協力:株式会社ノナカ、株式会社アスペン

野中貿易株式会社
NONAKA BOEKI CO., LTD.

ハバネラ サクソフォン・カルテット Quatuor Habanera



Christian Wirth

Soprano saxophone



Sylvain Malézieux

Alto saxophone



Fabrizio Mancuso

Tenor saxophone



Gilles Tressos

Baritone saxophone

ハバネラ サクソフォン・カルテットはサクソフォン・カルテットの持つ既存のイメージと音色を刷新しようというプロジェクトのもと1993年に結成された。それ以来現代音楽の世界初演から個性豊かな編曲作品、ワールドミュージックから即興演奏までとそれらの多様な音楽と共に様々な舞台を渡り歩いてきた。メンバー全員がパリ国立高等音楽院サクソフォン科において学び、室内楽科を一等賞を得て卒業。同音楽院第三課程に進んだ後は大阪国際室内楽コンクールをはじめ、ポルドー、デュッセルドルフなどで開催された国際コンクールで次々と優勝。今までに8つの国際コンクール優勝歴を誇る。

ハバネラ サクソフォン・カルテットは、結成以来芸術的な出会いの赴くまに道を歩んできた。新曲の初演、特に現代音楽において、G.リゲティ、S.ライヒ、棚田文紀、F.レヴィー、A.マルケアス、P.ルルー、B.マントヴァーニなどの数々の作曲家たちの新作初演を今までに行った。2015年はペーテル・エトヴェシュの「Lectures différentes (様々な解釈)」世界初演、またストラスブルク交響楽団委嘱によるフローラン・モッチ (第13回武満徹作曲賞受賞) の「Diptyque—サクソフォンカルテットとオーケストラのための」の世界初演が予定されている。

現代音楽作品を俯瞰したアルバム「ミステリアス・モーニング」、ルイ・スクラヴィスとレコーディングした「L'engrenage」、ガラスノフ、グリーグ、ドヴォルザークの音楽を収録したアルバムまで、それらの多様性豊かなアルバムは名だたる音楽専門誌によって特別に紹介され賞賛されてきた。最新のアルバムはラヴェル、ショーソン、ドビュッシーなどのフランス人作曲家の大家の作品を集めたもので2015年7月にフランス・ストラスブルクにおいてのワールド・サクソフォンコンgresにて発表された。

ハバネラ サクソフォン・カルテットの活動は年々広がりを見せている。パリ市立劇場、オント熱狂の日音楽祭、IRCAM、ラジオフランス、パツハアカデミーなどのフランス各地、また日本、中国、アメリカ、カナダ、ヨーロッパ諸国等今日では世界中のいたるところで彼らの演奏が聴かれるようになった。2015、16年のシーズンは日本、台湾のアジアツアーのほかアメリカツアーも行い、リサイタル、また作曲家のアレクサンドロス・マルケアスとビデオアーティスト、ピエール・ヌーベル氏によるマルチメディアスペクタクル「Amériques」の上演、またアコーディオン奏者のリチャード・ガリアーノとコンサートを予定している。

ハバネラ サクソフォン・カルテットはセルマーサクソフォン、セルマーマウスピースを演奏している。またオート=ノルマンディー地域圏、文化省州文化局より助成を受け活動している。

ブルーオーロラ・サクソフォン・カルテット The Blue Aurora Saxophone Quartet

サクスは、ここまで来た。

彼らを聴かずに、この楽器の21世紀は語れない。

サクス界の革命児、平野公崇が満を持して結成したサクス四重奏団。グループ名は武満徹の作品『柳樹のためのブルー・オーロラ』に由来する。パリ国立高等音楽院卒業後、現代作品と即興のみで構成された異色のアルバム「ミレニアム」(2000年)で鮮烈な日本デビューを果たし、以後様々な企画のプロデュースで各方面の注目を集めてきた平野公崇。ソロ活動を中心に演奏活動を行う中、同じ楽器同士の響きに次第に魅力を感じ始めた平野がカルテット結成を実現するにあたりメンバーとして集まったのは、それぞれ個性と才能を認められ、また同じ音楽的志向を分かち合える仲間でもある大石将紀、西本淳、田中拓也。

2011年、デビューCD「ファースト・ブルー」をリリース。同年秋に行ったCDリリース記念ツアーはセンセーショナルな成功を収め、これまでに計3枚のCDがリリースされている。2016年9月より、将来有望な若手奏者、本堂誠をバリトンに迎え新しいグループとして活動をスタートさせている。

平野公崇 Masataka Hirano

Soprano saxophone



正統派クラシックから、即興、ジャズまで、幅広いフィールドを縦横無尽に駆け抜ける実力派サクソフォニスト。東京藝術大学卒業後パリ国立高等音楽院で学び、在学中にJ.M.ロンデックス国際コンクールを制し、日本人として初の優勝者となる。東京藝術大学、エリザベト音楽大学、東邦音楽大学、洗足学園音楽大学非常勤講師。フランスのギャップ国際大学およびアカデミー・ハバネラ講師。

田中拓也 Takuya Tanaka

Alto saxophone



15才よりサクソフォーンを始める。第25回日本管打楽器コンクール第1位並びに特別大賞、文部科学大臣賞、東京都知事賞を受賞。優秀学生顕彰事業大賞受賞。東京藝術大学在学中アカンサス賞受賞。サクソフォンを平野公崇氏に、室内楽を中村均一、林田祐和の各氏に師事。都立芸術高校、東京藝術大学を経て、現在、洗足学園音楽大学非常勤講師。

西本 淳 Jun Nishimoto

Tenor saxophone



大阪音楽大学音楽学部器楽学科卒業。同大学院音楽研究科管弦打研究室修士課程修了。ノナ・サクソフォン・コンクール・クラシック部門第1位。第8回松方ホール音楽賞・選考委員奨励賞受賞。平成18年度坂井時忠音楽賞受賞。大阪音楽大学特任准教授、相愛大学・武庫川女子大学講師。

本堂 誠 Makoto Honda

Baritone saxophone



2012年東京藝術大学音楽学部器楽科を卒業し同大学院に入学。同年11月に渡仏し、パリ国立高等音楽院第一課程に入学。最優秀の成績で修了し、現在第二課程に在籍中。また在学中アムステルダム音楽院へ短期交換留学し研鑽を積む。第7回スロヴェニア国際コンクール、アドルフサクソ国際コンクール(フランス)ソリスト部門ほか数々の国際コンクールで優勝している。これからますます目の離せないサクソフォニストの一人となる。

フランスで開催されている「アカデミー・ハバネラ」昨年に引き続き待望の再来日決定!

アカデミー-HABANERA in JAPAN

●ハバネラ サクソフォン・カルテット マスタークラス
2016年10月28日(金)

●アカデミー HABANERA in JAPAN vol.2
2016年11月1日(火)

場所: 株式会社アクタス ノナカ・アンナ・ホール

8つの国際コンクール優勝歴を誇る世界屈指のサクソフォン・カルテット、ハバネラ サクソフォン・カルテットとブルーオーロラ サクソフォン・カルテット、2つのカルテットによる室内楽講習会を開催!



Habanera

クリスチャン・ヴィルトゥ
- Christian Wirth -

シルヴァン・マレズユー
- Sylvain Malézieux -

ファブリツィオ・マンクーゾ
- Fabrizio Mancuso -

ジル・トレス
- Gilles Tressos -



The Blue Aurora

平野 公崇
- Kimitaka Hirano -

田中 拓也
- Takuya Tanaka -

西本 淳
- Jun Nishimoto -

本堂 誠
- Makoto Hondo -

アカデミーHABANERA

in JAPAN

8つの国際コンクール優勝歴を誇る世界屈指のサクソフォン・カルテット“ハバネラ”と“ブルーオーロラ”2つのカルテットによる室内楽講習会を開催!

参加者募集!

毎夏、フランス中西部の地方都市ボワティエにて開催されている「アカデミー・ハバネラ」が日本にて開催されます。ハバネラサクソフォン・カルテットのメンバーとブルーオーロラ・サクソフォン・カルテットのメンバーによる、更なる技術の向上と表現の幅を広げるべく、昨年より日本でもアカデミーを開催。今年は2日間にわたって、第1弾はハバネラメンバーによるマスタークラス(募集団体:3組)、第2弾はハバネラとブルーオーロラ、両方による2回のカルテット・レッスンと各パートごとに分かれての特別レッスンの合計3回のレッスンを受けられます(募集団体:8組)。最高の指導陣から専門的な指導を受けることが出来る2日間。新たな自分の可能性をぜひ、発掘してください。

ハバネラ サクソフォン・カルテット マスタークラス

■ 日程: 2016年 10月 28日(金)

■ 募集団体数: 3組(先着順)

ハバネラサクソフォン・カルテットメンバーによるマスター・クラス。

■ 受講料: 一人 15,000円

(東京・名古屋・広島各公演の中からご希望のコンサートチケット一枚付)

※宿泊費、会場までの交通費、食事は含まません

アカデミーHABANERA in JAPAN vol.2

■ 日程: 2016年 11月 1日(火)

■ 募集団体数: 8組(先着順)

2つのそれぞれのカルテットによるレッスンと各パートごとに別れての特別レッスンの合計3回のレッスン。

■ 受講料: 一人 15,000円

(東京・名古屋・広島各公演の中からご希望のコンサートチケット一枚付)

※宿泊費、会場までの交通費、食事は含まません

【共通項目】

■ 会場: 株式会社アクタス ノナカ・アンナ・ホール

■ 編成: サクソフォン・カルテット(ソプラノ、アルト、テナー、バリトン、または2アルト、テナー、バリトン)

■ 募集期間: 2016年9月20日(火)から定員になり次第締め切り(メール受付は午前0時より開始)

■ お申込・お問合せ: 野中貿易株式会社 開発営業部 担当: 高尾「アカデミーHABANERA in JAPAN」係

E-MAIL: kazutaka.takao@nonaka.com

TEL: 080-4124-7720 (受付時間: 月~金 11:00~17:00) / FAX: 045-211-2444

住所: 〒231-0011 横浜市中区太田町4-46

※上記内容は諸事情により変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。

■ 主催: 野中貿易株式会社 ■ 協賛: セルマー・バリ社、バンドーレン社 ■ 協力: 株式会社アクタス、株式会社アスペン



- Christian Wirth クリスチャン・ヴィルトウ - *Soprano saxophone* -
- Sylvain Malézieux スイルヴァン・マレズー - *Alto saxophone* -
- Fabrizio Mancuso ファブリツィオ・マンクーゾ - *Tenor saxophone* -
- Gilles Tressos ジル・トレス - *Bariotone saxophone* -

ハバネラ サクソフォン・カルテットはサクソフォン・カルテットの持つ既存のイメージと音色を刷新しようというプロジェクトのもと1993年に結成された。それ以来現代音楽の世界初演から個性豊かな編曲作品、ワールドミュージックから即興演奏までとそれらの多様な音楽と共に様々な舞台を渡り歩いてきた。メンバー全員がパリ国立高等音楽院サクソフォン科において学び、室内楽科を一等賞を得て卒業。同音楽院第三課程に進んだ後は大阪国際室内楽コンクールをはじめ、ポルドー、デュッセルドルフなどで開催された国際コンクールで次々と優勝。今までに8つの国際コンクール優勝歴を誇る。

ハバネラ サクソフォン・カルテットは、結成以来芸術的な出会いの赴くままに道を歩んできた。新曲の初演、特に現代音楽において、G:リグティ、S:ライヒ、棚田文紀、F:レヴィー、A:マルケアス、P:ルルー、B:マントヴァーニなどの数々の作曲家たちの新作初演を今までに行った。2015年はベーター・エトヴェシュの「Lectures différentes (様々な解釈)」世界初演、またストラスブル交響楽団委嘱によるフロラン・モッチ (第13回武満徹作曲賞受賞)の「Diptyque—サクソフォンカルテットとオーケストラのための」の世界初演が予定されている。

現代音楽作品を俯瞰したアルバム「ミステリアス・モーニング」、ルイ・スクラヴィスとレコーディングした「L'engrenage」、グラスノフ、グリーグ、ドヴォルザークの音楽を収録したアルバムまで、それらの多様な豊富なアルバムは名だたる音楽専門誌によって特別に紹介され賞賛されてきた。最新のアルバムはラヴェル、ショーン、ドビュッシーなどのフランス人作曲家の大家の作品を集めたもので2015年7月にフランス・ストラスブルにおいてのワールド・サクソフォンコンgresにて発表された。

ハバネラ サクソフォン・カルテットの活動は年々広がりを見せている。パリ市立劇場、ナント熱狂の白音楽祭、IRCAM、ラジオフランス、パツハアカデミーなどのフランス各地、また日本、中国、アメリカ、カナダ、ヨーロッパ諸国等今日では世界中のいたるところで彼らの演奏が聴かれるようになった。2015、16年のシーズンは日本、台湾のアジアツアーのほかアメリカツアーも行い、リサイタル、また作曲家のアレクサンドロス・マルケアスとビデオアーティスト、ビエール・ヌーベル氏によるマルチメディアスペクタクル「Amériques」の上演、またアコーディオン奏者のリチャード・ガリアーノとコンサートを予定している。

ハバネラ サクソフォン・カルテットはセルマーサクソフォン、セルマーマウスピースを演奏している。またオートノルマンディー地域圏、文化省州文化局より助成を受け活動している。

サクスは、ここまで来た。
彼らを聴かずして、この楽器の21世紀は語れない。

サクス界の革命児、平野公崇が満を持して結成したサクス四重奏団。グループ名は武満徹の作品「—柳蕙のためのブルー・オーロラ」に由来する。パリ国立高等音楽院卒業後、現代作品と即興のみで構成された異色のアルバム「ミレニアム」(2000年)で鮮烈な日本デビューを果たし、以後様々な企画のプロデュースで各方面の注目を集めてきた平野公崇。ソロ活動を中心に演奏活動を行う中、同じ楽器同士の響きに次第に魅力を感じ始めた平野がカルテット結成を実現するにあたりメンバーとして集まったのは、それぞれ個性と才能を認められ、また同じ音楽的志向を分かち合える仲間でもある大石将紀、西本淳、田中拓也。
2011年、デビューCD「ファースト・ブルー」をリリース。同年秋に行ったCDリリース記念ツアーはセンセーショナルな成功を収め、これまでに計3枚のCDがリリースされている。2016年9月より、将来有望な若手奏者、本堂誠をバリトンに迎え新しいグループとして活動をスタートさせている。

■ 平野公崇 Masataka Hirano - *Soprano saxophone* -

正統派クラシックから、即興、ジャズまで、幅広いフィールドを縦横無尽に駆け抜ける実力派サクソフォニスト。東京藝術大学卒業後(パリ国立高等音楽院で学び、在学中にJ.M.ロンデクス国際コンクールを制し、日本人として初の優勝者となる。東京藝術大学、エリザベト音楽大学、東邦音楽大学、洗足学園音楽大学非常勤講師。フランスのギャップ国際大学およびアカデミー・ハバネラ講師。

■ 田中拓也 Takuya Tanaka - *Alto saxophone* -

15よりサクソフォーンを始める。第25回日本管打楽器コンクール第1位並びに特別大賞、文部科学大臣賞、東京都知事賞を受賞。優秀学生顕彰事業大賞受賞。東京藝術大学在学中アカンサス賞受賞。サクソフォンを平野公崇氏に、室内楽を中村均一、林田祐和の各氏に師事。都立芸術高校、東京藝術大学を経て、現在、洗足学園音楽大学非常勤講師。

■ 西本淳 Jun Nishimoto - *Tenor saxophone* -

大阪音楽大学音楽学部器楽学科卒業。同大学院音楽研究科管弦打研究室修士課程修了。ノカ・サクソフォン・コンクール・クラシック部門第1位。第8回松方ホール音楽賞・選考委員奨励賞受賞。平成18年度坂井時忠音楽賞受賞。大阪音楽大学特任准教授、相愛大学・武庫川女子大学講師。

■ 本堂 誠 Makoto Hondo - *Bariotone saxophone* -

2012年東京藝術大学音楽学部器楽科を卒業し同大学院に入学。同年11月に渡仏し、パリ国立高等音楽院第一課程に入学。最優秀の成績で修了し、現在第二課程に在籍中。また在学中アムステルダム音楽院へ短期交換留学し研鑽を積む。第7回スロヴェニア国際コンクール、アドルフサクス国際コンクール(フランス)ソリスト部門ほか数々の国際コンクールで優勝している。これからますます目の離せないサクソフォニストの一人となる。

アカデミー HABANERA in JAPAN 参加申込書

① 申し込み日程(どちらかを丸)		ハバネラ サクソフォン・カルテット マスタークラス 2016年10月28日(金)		アカデミーHABANERA in JAPAN vol.2 2016年11月1日(火)	
③ フリガナ					
② 代表者氏名					
④ 性別		⑤ 生年月日(西暦で)		⑥ 年齢	
⑦ 〒					
⑧ 住所					
⑨ ご連絡先		電話番号		email(PCからのメールがブロックされないアドレス)	
⑩ 学校名または所属団体名			⑪ 一般・大学生・高校生・中学生・その他		

ご記入後は下記返送先へ「郵送」・「FAX」もしくは①～⑩を「email」にてお送りください。

〒231-0011 神奈川県横浜市中区太田町4-46 野中貿易株式会社 開発営業部 担当:高尾 「アカデミー HABANERA in JAPAN」係
TEL:080-4124-7720 (受付時間:月~金 11:00~17:00) FAX:045-211-2444 MAIL: kazutaka.takao@nonaka.com